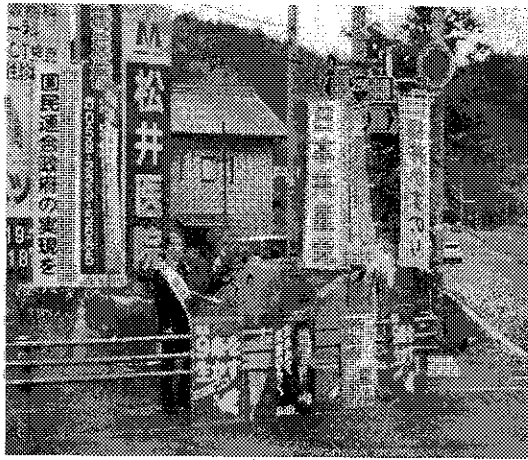


市議二期目の決意 市民の声を議会へ!

市議補欠選挙に続いて、再び議会に送り出していただく



きました。

一年間の議員活動を通じ、市民の願いの実現にこだわることの大切さを実感しました。ただ質問し答弁を聞いて「よろしく願いします」では市民の願いは実現しません。行政側の答弁「検討します」は大体が「やりません」ということばです。具体的な事実にもとづいた根拠を持って、市民の願い実現のため、徹底して追

及することが必要です。選挙中の公約であったデマンドバスの実現、小中学校191教室にエアコンの早期設置について、6月議会で早速取り上げます。

「おじちゃん、エアコン早くつけて」「教室、ほんとに暑いよ!」

選挙期間中に多くの小学生に、教室の暑さについて聞きました。どの子供たちも「早くエアコンをつけて!」の声がほとんどでした。中には「昨日お母さんに話したら、エアコンつけてくれるならうれしいよ」「僕もお母さんに、話したら同じこといっとった」。

文部科学省は、28度以下の快適な環境のなかで勉強させるために、エアコン設置補助金を設けています。地元では、エアコンなかなかつけてくれないので、親

たちでカンパを集めて、学校にお願いしようか」という父兄の声まで出ていました。

エアコンは3、4年も前から話題に

今年3月市議会で、同僚議員のエアコン設置についての質問がありました。エアコン設置は膨大な費用がかかるので、人的教育整備に力点を置いてきた。H28年度は、設置に向けた調査をしたい」との答弁で終わりました。

山県市は学校の耐震工事もすでに終わり、トイレ改修も終わっています。しかし、エアコン設置については、3年前も同じように「調査をします」という答弁。この3月も「調査します」で終わっています。「いつまで、調査ばかりしてるんや。」「市長はエアコンつける気があるのか。」こうした市民の率直な声を、私は6月市議会にしっかりと届け、エアコン設置の早期実現を市長に迫ります。

若者の命と人生が失われている

自衛隊の戦死者は一人もいないのですが、戦争の犠牲者がいないわけではありません。日本では「非戦闘地域」への派遣が建前だったイラク派兵でも、迫撃砲やロケット弾による宿営地への攻撃は14回に及びました。緊張と恐怖から、派遣された自衛隊員の1割から3割が精神に不調をきたしました。そしてアフガン派兵と併せて、帰国後、40人の隊員が自ら命を絶っています。これが「戦闘地域」への派兵、「殺し、殺される」状況に投げ込まれたらどうなるでしょう。アメリカでは60万人が精神障害、年間8000人も自殺者が出ています。

これにより日本はこの国とも70年間戦争はせず、国際的にも信頼を勝ち得てきたのです。これを削除し、世界中どこでも軍事行動ができる軍隊に自衛隊を変えようとしています。

岐阜でも遂に誕生!

参院選野党統一候補

憲法9条「変えないほうがよい」68% (朝日新聞)の国民

世論の下、安倍首相は正面から「自分」の任期中に、憲法9条改正をする」と言明。そのために参議院選で3分の2の議席を獲得すると公言しました。参議院32の一人区すべてで「野党統一候補」擁立をめざし、岐阜県でもやっと実現しました。



自民党憲法改正草案は、9条2項を削除し、国防軍の創設を明記

憲法9条2項では「陸・海・空の戦力は持たない。国の交戦権は認めない」と明記し、国際法上も戦争を放棄した立派な条文です。選挙区は「統一候補の小見山さんを!」、比例代表では「日本共産党を!」でがんばります。

お母さんたち 議会傍聴に来て!

市民の皆さん。エアコンの設置や、デマンドバスの実現に向けた6月市議会でのやり取りを直接聞いてください。市民の声がどの様に扱われているか。私は現場の声をたくさん聞いてきました。その声を代弁して、行政に実施を迫っていきま。それに対する市長の答弁、議会改革には「市民の目、市民の耳」が大切です。お母さんたちが大勢で議会傍聴をすれば、行政側もいつまでも「調査します。」と

言い逃れ答弁はできません。市役所4階の受付に来ていただければ、傍聴は誰でも簡単にできます。選ばれた議員達の仕事ぶりもわかります。

「9条は紛争抑制の象徴」

岐阜新聞の2月26日朝刊に「平和考」と題して、国際舞台で活躍するピース・ボート共同代表・川崎哲さんが次のようなメッセージを寄せていました。

「現実的でない」。護憲派に対し、こんな批判が出ることがある。しかし、川崎哲さんは、むしろ「日米同盟を強化すれば安全」という考えのほうが非現実的だと強調する。安保関連法の問題点は「日本の安全保障政策として合理的ではない。」「米軍への日本の支援を恒久化し、軍事的な一体化を深めることが、日本や世界の安全を高めるとは思えない。」と主張している。

「安倍政権は日米安保への依存を格段に強め、9条を除こうとしている。だが、9条はアジア諸国との信頼関係の土台だ。この柱を手放すことは、非常に危険な道だと思う。被爆国としての戦争の痛みを知る日本が、9条の下で平和国家として振舞うことは道義的権威となる。軍縮や紛争予防の為に国際的なルール作りで、主導権を握ることができる。東アジア諸国連合のような多国間の枠組みを、北東アジアでも作り、紛争の抑制力とすべきだ。9条はその象徴となる。」

安倍首相は憲法9条の改正を公言しています。今こそ憲法9条の意義を考える、この夏の参議院選挙は、絶好の機会ではないでしょうか。

山県市では、1月30日に「戦争法廃止を求める市民の会」が結成されて、全国での2000万人統一署名に取り組んできました。5月10日現在で、1500筆を突破しました。6月末まで継続中。毎週金曜日の統一行動は昨年7月から毎週金曜日10時から継続中です。



**市は高齢者の声を
直接聞く場を、各地
で設けるべきです。**

は戸口まで。それを可能にするのが、IT技術を生かした「30分前予約システム」の導入です。10人乗りワゴンタイプなら、10人迎えに行くにも、バス停までか戸口までかは時間的には2〜3分の差。バス停方式では、歩けば20〜30分もかかります。

6月議会一般質問日程
6月20日(月)
10時~16時
6月21日(火)
10時~12時
(時間は予定)

HP開設しました
www.jcpweb.net/fukui/

6月議会ではデマ ンド型交通の問題 の核心に迫る!

山県市は、昼間はデマンド型交通を計画に取り入れました。最大の問題は、「バス停方式」か「戸口から戸口方式」かの選択です。「バス停まで遠くて、歩くのに大変」行きたいときにバスがない「昼間のハーバスが「空気バス」状態になっている理由はこれです。空気バスに5000万円も毎年使っているのは無駄だと思います。市がいうデマ

ンド型交通といえ、山県市では広域だからこそバス停方式ではなく、戸口から戸口へのデマンド方式」が必要なんです。

行政はどうして「バ ス停方式」にこだわ るのか?

ハーバスでは利用が少なくても走っているのに「予約のデマンド型にすれば予約がなければ走らずに済み、経費節約できる」という答弁も過去にありましたが、バス停方式では高齢者の

デマンドなら「戸口 から戸口方式」これ こそ市民の願い。

「バス停までが遠くて不便だ」という声を改善することになりません。

市民の願いは、30分前に予約をすれば、戸口まで迎えに来て、行きたいところ(公共施設や病院や商店を決めておく方法もふくめ)に送ってくれて、帰りは戸口まで。それを可能にするのが、IT技術を生かした「30分前予約システム」の導入です。10人乗りワゴンタイプなら、10人迎えに行くにも、バス停までか戸口までかは時間的には2〜3分の差。バス停方式では、歩けば20〜30分もかかります。

